

新型コロナウイルス感染症について 知っていただきたいこと

新型コロナウイルス感染症とは

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ

けんたいかん
（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。

感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。

特に**ご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性**が考えられます。

新型コロナウイルスはひまつ**飛沫感染と接触感染により感染**します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話等には注意が必要です。

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、 <small>せき</small> 咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

日常生活で気を付けること

まずは**手洗い**が大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、**咳エチケット**を行ってください。

持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ**人込みの多い場所を避ける**など、より一層注意してください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、会社等を休んでください。

発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

こんな方はご注意ください

次の症状がある方は「仙台市宮城県相談窓口（コールセンター）」にご相談ください。（電話番号 022-211-3883）

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）

強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

ただし、持病がある方は、**事前に電話で**かかりつけ医にご相談ください。

上記症状でコールセンターにご相談いただいた後は、コールセンターから、帰国者・接触者相談センターへおつなぎします。

帰国者・接触者相談センター相談の結果、新型コロナウイルス感染症に感染している疑いがある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

お問い合わせ先

上記の症状がある場合のほか、一般的なお問い合わせについては、次の窓口にご相談ください。

仙台市宮城県相談窓口（コールセンター）

電話番号 022-211-3883

受付時間 24 時間（土日・祝日も実施）

※聴覚に障害のある方等、電話でのご相談が難しい方はFAXをご利用いただけます。（FAX 022-211-3192）

※上記相談窓口への連絡時、通訳を必要とされる方は以下の通訳サポート電話をご利用いただけます。

仙台多文化共生センター「通訳サポート電話」

022-224-1919（9時から17時まで）

厚生労働省相談窓口

電話番号 0120-565653（フリーダイヤル）

受付時間 9:00～21:00（土日・祝日も実施）

